

「豊かな心」の育成に向けて		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
①約束やルールを守って行動できていますか。	児童	66.1%	28.4%	4.6%	0.9%
	保護者	36.1%	56.9%	6.4%	0.6%
②やさしくていねいな言葉をつかっていますか。	児童	59.5%	32.5%	5.5%	2.6%
	保護者	26.3%	58.4%	15.0%	0.3%
③自分から気持ちのよいあいさつをしていますか。	児童	63.5%	25.9%	6.6%	4.0%
	保護者	23.7%	46.0%	26.3%	4.0%
④むずかしいことでもがんばって挑戦していますか。	児童	77.0%	17.5%	3.7%	1.7%
	保護者	17.3%	47.1%	32.1%	3.5%

③「そう思う」という児童の回答が増えている。保護者の回答では、前は「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が少し増えていたが、今回はまた減ってしまった。

④児童では、「そう思う」という回答が増えているが、保護者は減っている。

③いつでも、だれにでもあいさつができる子をめざしていきます。

アンケート結果で、「そう思う」と自信をもって「あいさつをしている」と回答をしている児童が増えています。実際に学校で、登下校時や、給食を返却する時等に、自分からあいさつをする児童が増えたように思います。給食の返却に給食室にきた時、進んで調理員さんに「おいしかったです」とあいさつをしている姿が見られます。また、廊下で出会うと、会釈をしてあいさつをする高学年の児童もいます。そのような姿を全校児童に紹介することで、これから進んであいさつをする児童を増やしていきたいと思います。



④レジリエンス(何事にもしなやかで折れない心)の育成をめざします。

学校教育目標を「夢に向かって、笑顔で取り組む広沢の子 ～何事にもしなやかで折れない心(レジリエンス)の育成～」としていますが、この3年間、学校行事の縮小や友達との交流や遊びの制限、放課後の補習等の中止等、児童が苦手なことやうまくいかないことを何度も繰り返しがんばる場面が少なくなっていたように思います。でも、今年度はようやく様々な制限が少なくなり、児童ががんばる場面を作ることができるようになりました。例えば、休み時間には、一輪車や竹馬を粘り強く練習し、友達と教え合い、支え合い、できるようになるまでがんばる姿が見られます。放課後には、間違ったところや分からなかったところを担任と個別に学習する姿があります。

しかし、児童を見ていると、自分が思うようにうまくいかないことや、嫌なことがあった時には逃げてしまったり、諦めたりしてしまう場合があるように感じます。学校運営協議会では、「難しいこと」でも諦めずにがんばるためには、「～のようになりたい」「～は面白い」などとあこがれや興味をもつことが大切ではないかという意見が出ました。本を読んだり、いろいろな人に出会ったりするなど、あこがれや興味・関心をもつきっかけとなるような経験をたくさんしていけるよう意識して取り組んでいきたいと思います。そして、児童が粘り強くがんばることができる場を大切に、達成感や成就感を味わえるように、今後も支援を続けていきたいと思います。

「健やかな体」の育成に向けて		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
①いじめ・なかまはずれしないように、気をつけていますか。	児童	82.8%	14.7%	0.6%	2.0%
	保護者	50.0%	48.6%	1.2%	0.3%
②ゲーム・テレビの時間を決め、早寝・早起きをし、時間を考えて生活していますか。	児童	56.3%	28.2%	8.3%	7.2%
	保護者	18.2%	42.5%	30.9%	8.4%
③進んで外遊びをしていますか。	児童	70.1%	16.7%	9.2%	4.0%
	保護者	31.2%	41.9%	21.4%	5.5%
④好ききらいなく食事をしていますか。	児童	69.3%	18.7%	7.8%	4.3%
	保護者	28.6%	39.9%	24.6%	6.9%
⑤「つま先立ち」をがんばっていますか。 (つま先立ちや足型測定等の「足育」は、お子さんの健やかな生活につながっていますか。)	児童	83.3%	14.1%	1.4%	1.1%
	保護者	30.6%	54.3%	14.2%	0.9%
⑥感染症対策(マスク・手洗い・3密をさけるなど)をしていますか。	児童	68.1%	26.4%	3.2%	2.3%
	保護者	52.6%	45.4%	1.7%	0.3%

②「そう思う」という児童の回答が増えている。しかし、「そう思わない」という児童の回答も増えている。

③「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が増えている。

④「好ききらいなく食事をしている」と答える児童が増えているが、保護者では「あまりそう思わない」という回答が増えている。

②③④外遊び・食事・生活リズムを整えることの大切さをさらに伝えていきます。

本校では毎月「すこやか週間」を設定し、健康的な生活について考える機会をもってきました。健康的な生活のためには、運動することの大切さ、特に外で遊ぶことの大切さを伝えてきました。



「給食だより」を使った学習や、栄養教諭の「食の指導」で、栄養バランスを意識した食事の大切さも学習しています。また、昨年度より毎月16日を本校で「ノーメディアデー」と定め、アンケート等を実施して自分の生活を振り返る機会をもってきました。その成果がアンケートにあらわれているのではないかと思います。

しかし、残念ながら、学校での取組が生かされず、遅くまでゲームをしたり、動画視聴をしたりする児童がいることが分かりました。メディアに関するアンケートの結果を見ると、トラブルが起こったり、学校で学習に集中できなかったりする現状が明らかになってきました。また、生活習慣が乱れて学校で体調不調を訴える児童もいます。家庭とも連携を図りながら、今後も規則正しい生活リズムや睡眠の大切さについての学習を続け、児童が健康な生活について考える機会をもてるようにしていきたいと考えています。どうかご協力をお願いします。

その他		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
①学校だよりや学級だより、ホームページで学校の様子がよくわかると思われますか。	児童	74.1%	19.8%	3.2%	2.9%
	保護者	28.9%	61.3%	9.0%	0.9%
②学校は地域の特色や人材を生かした取組を行っていますか。	保護者	23.1%	57.5%	17.9%	1.4%
③夢や希望をもって活動できていますか。	児童	28.3%	51.4%	19.1%	1.2%
	保護者	74.7%	15.2%	5.5%	4.6%
④京都嵯峨学園の名称を、保護者や地域の方は知っていますか。	保護者	17.9%	51.4%	27.5%	3.2%
⑤京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供ができていますか。	保護者	17.1%	49.1%	30.6%	3.2%
⑥京都嵯峨学園で連携した教育活動が取り組めていますか。	保護者	16.5%	53.8%	25.7%	4.0%

②④⑤⑥昨年度と比べると、「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が増えている。

③昨年度と比べ、回答にあまり変化は見られない。



②④⑤⑥京都嵯峨学園(4小1中)・地域と連携して教育活動に取り組みます。

今年度は、地域の特色や人材を生かした取組や京都嵯峨学園(嵯峨中・嵯峨小・嵐山小・広沢小4校)での取組が少しずつできるようになりました。地域で行われた防災訓練に4年生が参加したり、広沢地域の方を招いて地域のことや仕事について教えていただいたりしました。京都嵯峨学園としても、今年度は3年生が他の小学校と学校の紹介をオンラインで交流したり、4校の生徒会・児童会が学校をよくするためにどんな取組ができるかを話し合ったりしました。教職員も、今年度は、4校の教職員が集合して、グループで教育活動について研修をしたり、4校の授業を参観して授業研修を行ったりしました。しかし、そのことを十分に情報発信できていなかったようで、回答には反映されていない結果でした。今後、地域や京都嵯峨学園のこれまでの取組を継続するだけでなく、ICT活用をして新たな取組ができないか模索していきたいと思います。そして、ホームページや学校だより、京都嵯峨学園だより等で情報発信に努めていきます。



③夢や希望がもてる取組・学習を行います。

学校運営協議会より、「夢や希望をもつためには、いろいろな本を読んだり、いろいろな人からお話を聞いたり、いろいろな体験をする機会を作ったりすることがきっかけとなるのではないか」という意見をいただきました。そのことから、地域の方や小・中学校と連携をしていろいろな活動や、校外学習やゲストティーチャーをお招きしての学習などを積極的に取り入れていきます。そして、本校の学校教育目標「夢に向かって、笑顔で取り組む広沢の子」の実現に向けて学校教育活動を行っていききたいと思います。

